

ここ北鹿で働く新鮮力



北鹿地方の将来を担う新入社員たち（3月20日、ホテルクラウンパレス秋北）

取材を終えて

職場に新たな風を

4月から約1カ月間連載した「北鹿で働く新鮮力」。若年層の県外転出や少子化の進行に伴い、人口減少、人手不足と暗い話題が多い中、北鹿地方で働くことを決めた新入社員皆さんの笑顔が希望の光に見えた。

緊張と不安をにじませながらも、目標を持ってひたむきに頑張る姿がとても印象的だった。また、照れながらカメラの前に立つ姿はほほ笑ましかった。明るい、恥ずかしがり屋など性格は人それぞれ。だが、共通していたのは「秋田、そして地元へ貢献したい」と自ら決めた地元就職への強い意志。自身の夢や地域への思いを語る熱いまなざし。そんな彼らの姿と言葉に胸が熱くなった。

教育する企業側も「何事も経験。勉強して戦力になってほしい」と若い力への期待値は高いが、「焦らず一つずつ覚えてほしい」と成長を温かく見守る姿勢も心強かった。

新入社員が持つ若いエネルギーは、今後職場に新たな風を吹き込むだろう。改めて、新社会人になった皆さん、おめでとう。また取材を通して会えることを楽しみにしたい。
(佐藤真輝雄)

〈カシリス終わり〉